

内道中ナリ

去ニ十三日被解雇者ハ復職批判演説会レ開催スヘイ
別記のノ如キヒラシ微布ロニニ費用、都合ニテ申上
スルニ至レリ

三、交渉結果

九月廿三日近入時過大沿外立名、被解雇者代表ハ工
場並松井良輔ト会見シ別記三、始キ模索書ヲ提出シ
巡談約ニ十五名、解雇者シ新規就用、形式ニテ被雇
タキ旨ヲ述ベタルス工場並ハ自下宣誓不願ニテ再擇
用不可能ナルヲトシ答ヘタル。左代表等ハ今一志向
考方ノ希望レ該事引揚ケタリ

右及申(通)報猶也

別記



會用足袋を送候セよ

1) 松政屋の類義不貞不詳なり

松井良輔不文つてゐる。即室用足袋は底下傳う各にあら松井足袋工場の聲あらず。ある二の松井足袋工場は高島市一二二番地多和太工場であるか、二、の松井足袋工場を十三番地同以上も随使して初学者一歩めの恩賞を承として内ノ第つ主のみ者であら後つて之へ云出ある足袋は勿稀に女工等一人や、男工の血を吸つし歩高止つた足袋大二の足袋一足の足袋費は約五文當し左の松井の才やが松井ヤマノ内山は十文なりの才ヤマノ又松井又足袋又足袋の室用足袋不使用りと仰ゆんと自力の工場で生産してある才やう大面幕しとり内へて老闆をアコ化しあふるつた。しかし才内不運一夫もの才ニナクひきり足袋を貰つてゐる。左高止の足袋は從業員随使のため大急用ひ及て湖下國めう水へゐる。左二三日はくと直ぐに型が崩れると云ふ全に非常用的足袋なり。

△松井足袋工場の旗大々の強要面をリ、キノ大也
△世間をコロ化し松井足袋の傍へニ附キ其段落を滋養附ケ处理シテ

松井足袋工場所長者松井要求同盟

別記(二)

解雇者復職運動の

眞摺と述べて至公至年の所成請焉に仰ゆ

中傷ケ各々あら松井足袋工場の重否者甚者甚々良輔と云ふ吸血鬼であります
本ら之月後某日ハ多量の復職を蒙ヘ少有て勿伊組会計丸入ヒ申すと松井ある
其半當本底坐敷金林檎之為意念地獄の糸の下に着良から男女工林檎の多款さ
其前より二の氣無足珍事の過大張り勢しきありまく少も解雇に付し

生

松井袋工場

別記(一)